



八百萬の処女

やぶらち子かん

異界で処女を競り落とされて……

1

prhs

八百万姦
～異界で処女を競り落とされて…

第 1 話



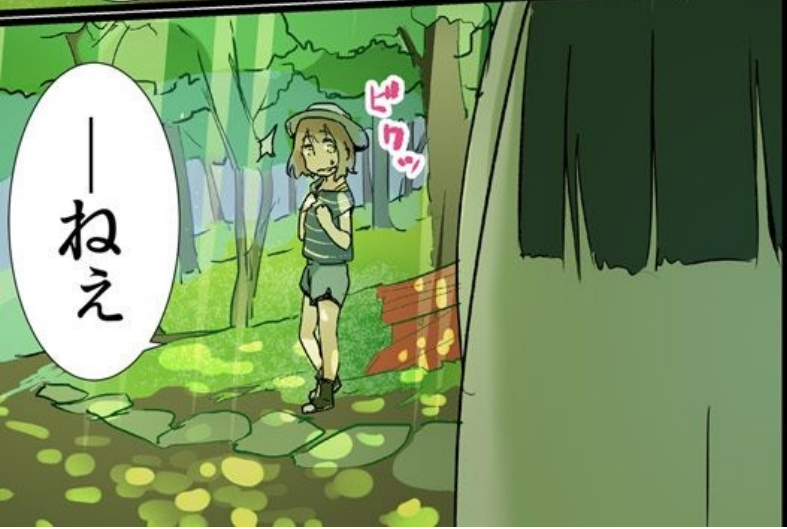
ん？

あちち…



これ
祠…かな？

こんな場所に
なんでだろ？



—ねえ



長い長い大学の
夏休みを使って

従妹の家がある
田舎に遊びに来た

裏山の滝で
水遊びとか
懐かしいなあ

あれ…？

ボールこっちに
来たと思う
んだけど



え...?

着物...?
キレイな
人だな...



これ...

貴方の
でしょう?



おかげで
社やしろが壊れたわ



でもなんで
こんな山奥に
1人で?



すみませんっ
あ謝っても
どうしようも
ないですけど

えええっ
飛んできた
ボールで!!

...



ここに
村がある
から

え...っ



なぜって



この村には
千年続く
酷い風習が
あってね

多くの巫達かんまきが
犠牲になった

私も耐え難い
仕打ちを永遠と
受けて来たわ

でもそれも
終わり

ちよ
ちよと
待つて



村：
こんな所に...？

私はこの村の
最後の巫かんまき



なんで
私の名前

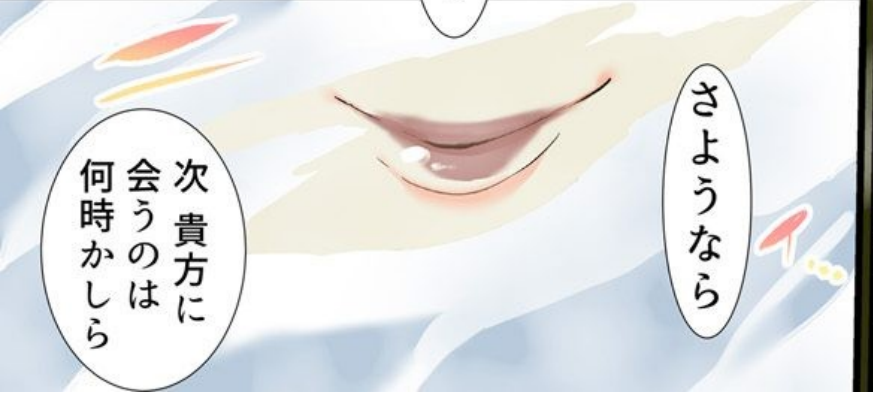
それは後で
嫌って程解るわ

だから



ここでずっと
貴方を待つてた

ゆりえ
友里恵



さようなら

次貴方に
会うのは
何時かしら



昼寝してたのに
起きちゃった

うわあつ

人じゃない…?

そりや中津国
じゃないからな
鬼だっているさ

お鬼!?



え…
巫女さん…?



ちよつと
置いてかないで…!

うるせえな

…え



意味わかん
ない…

早く元の
場所に…!



ん?
ああ成程
生身か



ここは黄泉比良坂の端
つくもがみ
九十九神の船着き場だ

そう魂が
行き着く処だ

ここに來たつて
ことはあんた…
神隠しにでも
あったな

よもつ…?



ほ…
本当に…っ?



帰りたいんだろ?
ここに
いたつてムリだ

送つてやるよ



ん?

何処に向かうの？

たかあまはら
高天原だ

島全体が
歓楽街って
いう変わった
島だな

神々の他にも
神隠しに遭った娘が
集まってる場所だ

そこなら
元の世界に
戻る方法もいずれ
見つかるだろう

…本当にそこ
大丈夫なの

さあな？

俺らは船賃もらったら
いつもすぐ帰るからよ

…え
船賃？

なんだあ？
…嬢ちゃん
金持ってるんじや
ないのか

え…
だって乗せてやる
って言うってたし

あは…

つつきり
タダかなーって

無銭乗船とは
いい度胸だな
おい…

ヒッ



相棒…
暫くぶりの着だ
たつぷり味わおうぜ

無茶するなよ
この娘高く
売れそうだ



痛—ツ

中々の別嬪じゃねーか
こりや当たりかもなあ



いでででっ

いや…っ



ちよと待って

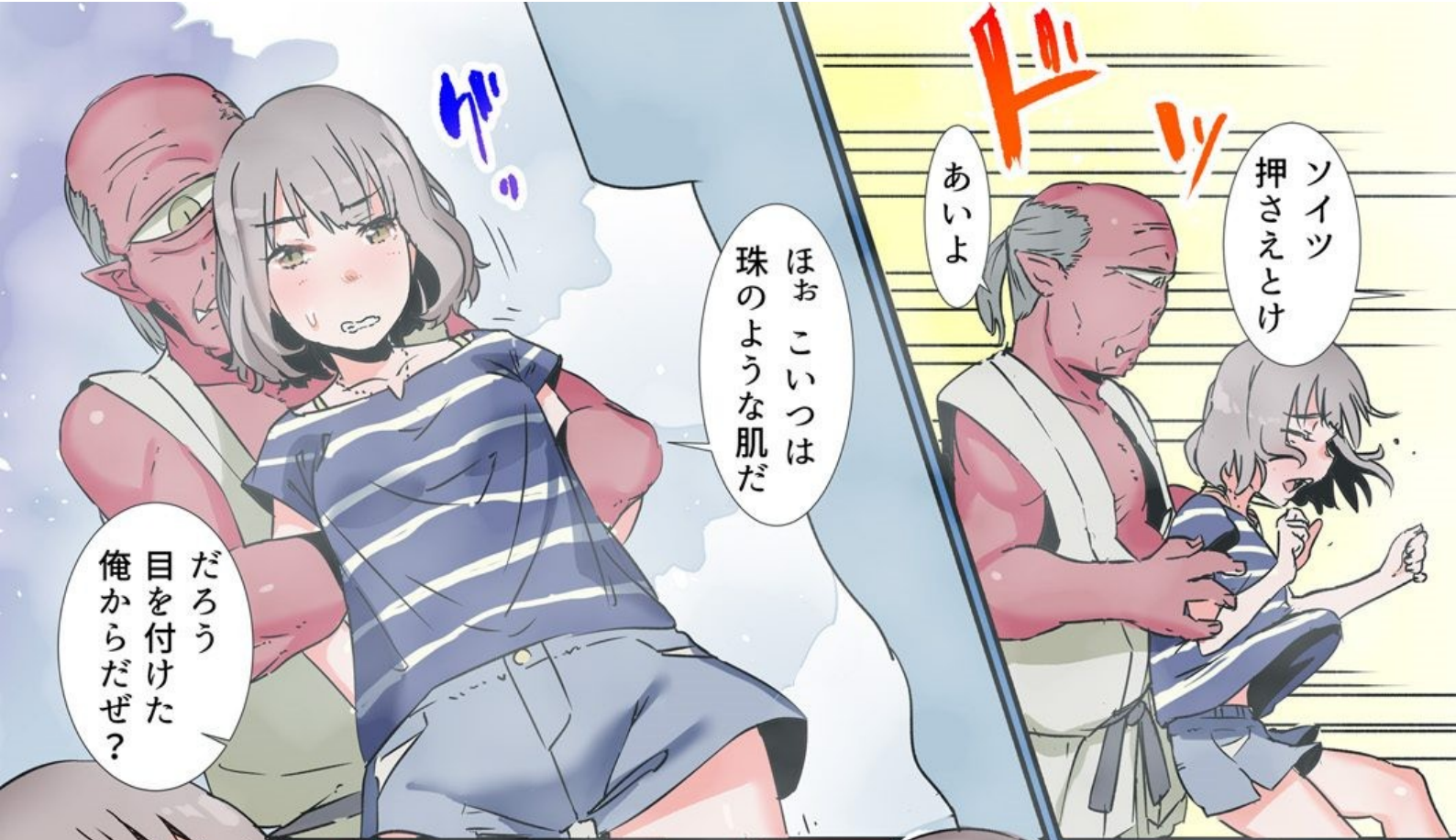
お前随分
柔っこい肌
してるなあ



こいつとんだ
じゃじゃ馬だな



ちよ…っ
どこ触って

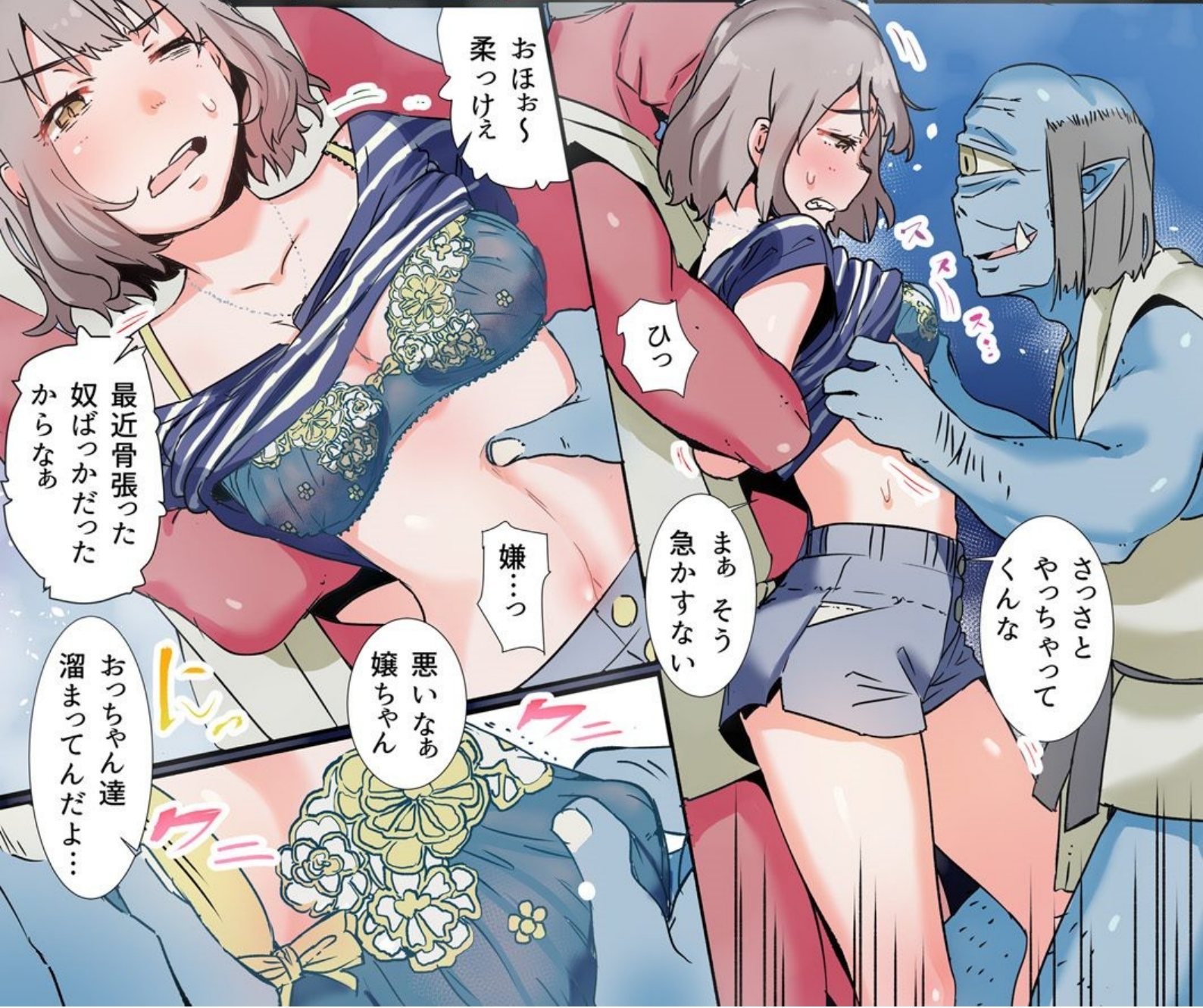


あいよ

ソイツ
押さえとけ

ほおこいつは
珠のような肌だ

だろう
目を付けた
俺からだぜ？



おほおほ
柔つけえ

ひっ

スッ
スッ
スッ

最近骨張った
奴ばっかだった
からなあ

嫌…っ

まあそう
急かすない

さっさと
やっちゃって
くんな

悪いなあ
嬢ちゃん

おっちゃん達
溜まってんだよ…

ん

ク

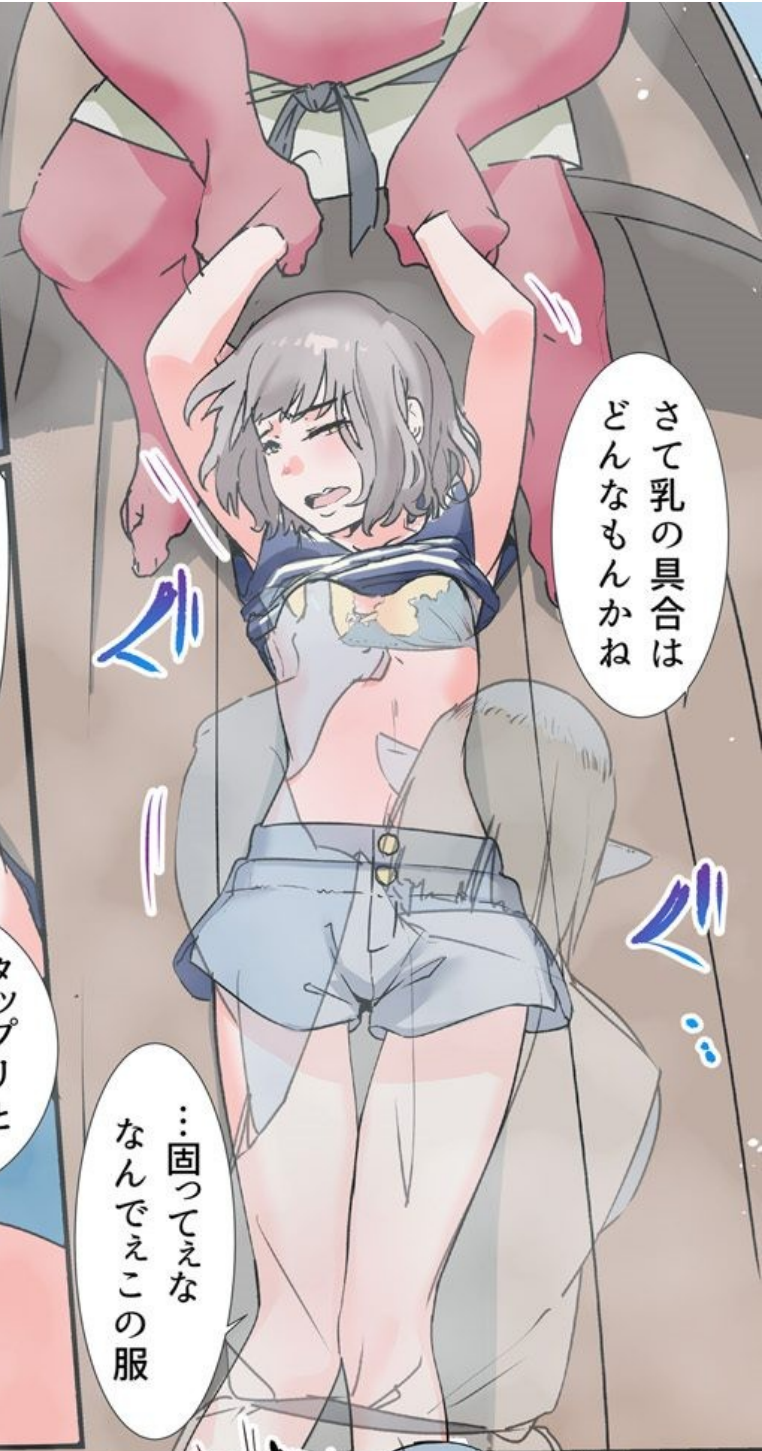


おお
デケエぞ

やだやだやだ...

このままじゃ
私...

タツプリと
しゃぶり
尽してやる
からなあ



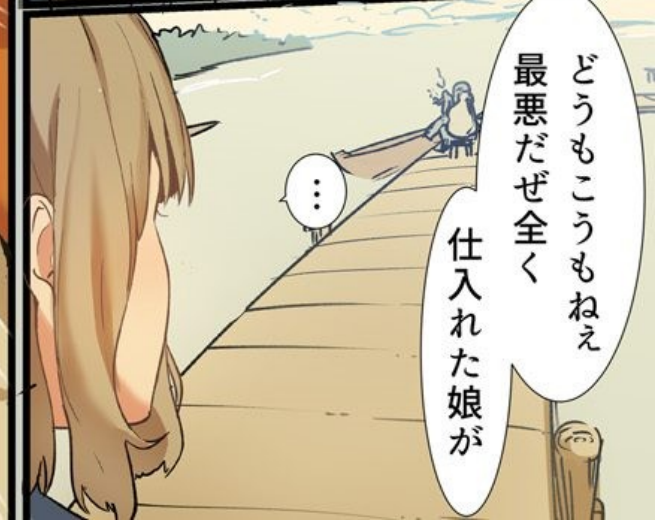
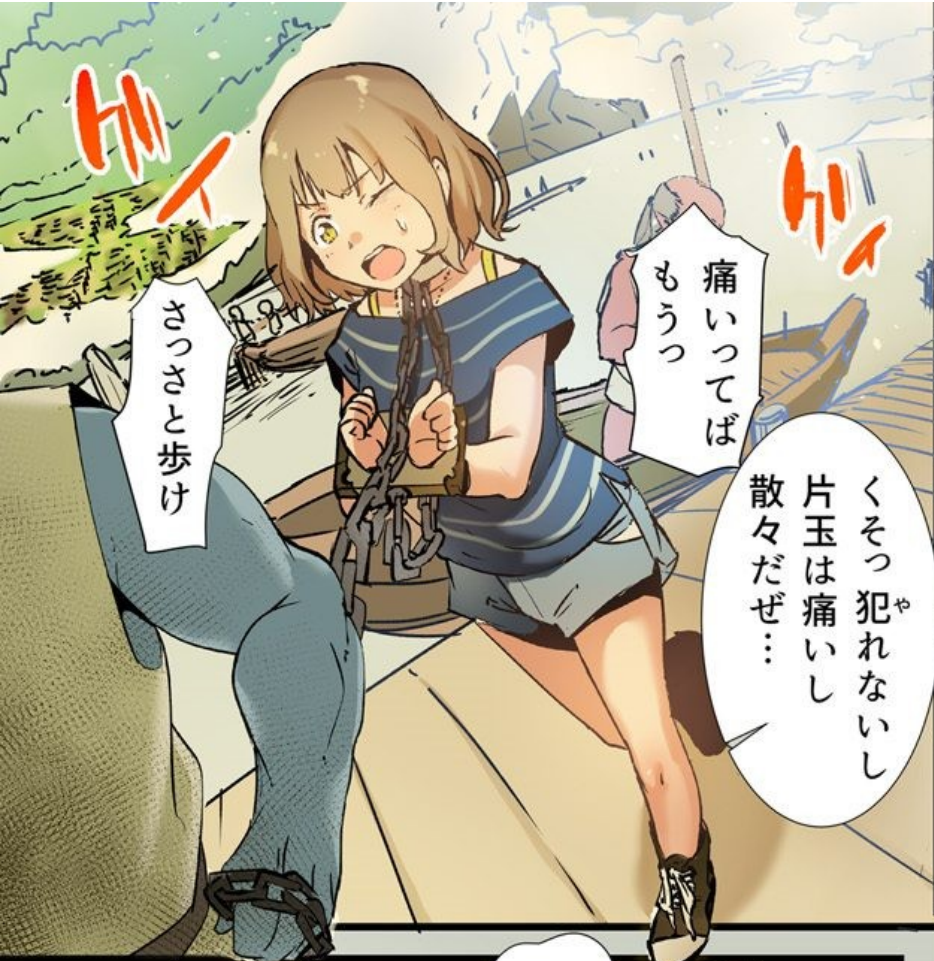
さて乳の具合は
どんなもんかね

固つてえな
なんでえこの服



とりあえず
売っちゃうか

たぶん...





おやなんでも
女術の旦那
だったんです
かい



端の船主か
中々の娘だな

菱びた婆ばかり
売っていたお前にも
ツキが巡って来た
のだな



おや...
これは

ぶふっ

た助けてくださいっ
追われてるの!

その方ソイツ
捕まえてください



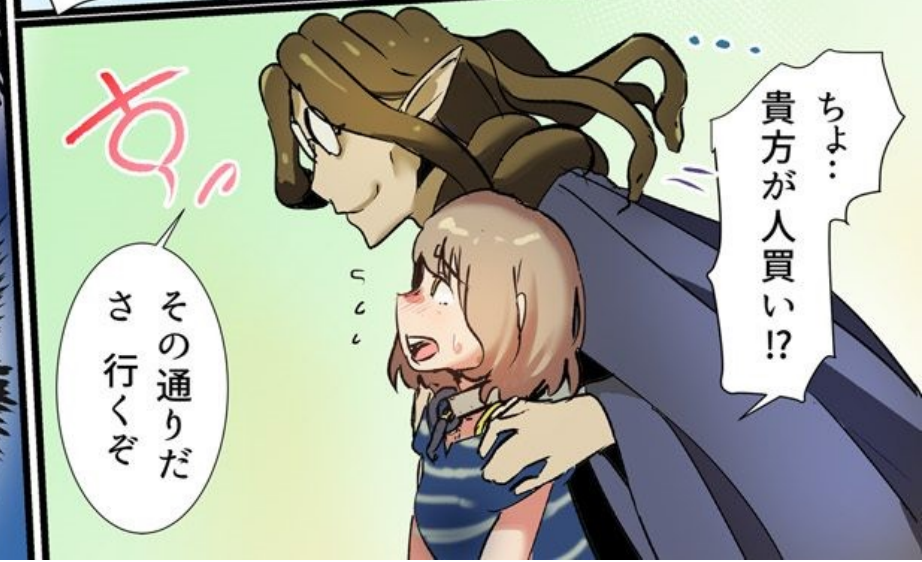
逃げられる
チャンスだったのに...

人買いに
助けを求め
ちゃうなんて



こいつは
ウチで
買うよ

えっ



ちよ...
貴方が人買い!?

その通りだ
さ行くぞ



腹はすいてないか？
何か食べられる物を
買って来よう



しばらく坂道を行くから辛くなったら言いな



…なんで優しくしてくれるのよ

むしろ怖い



入れ俺が価値を引き出してやる

こいつヤバイ…絶対屈しちゃだめだ

…大丈夫隙を見てまた逃げれば

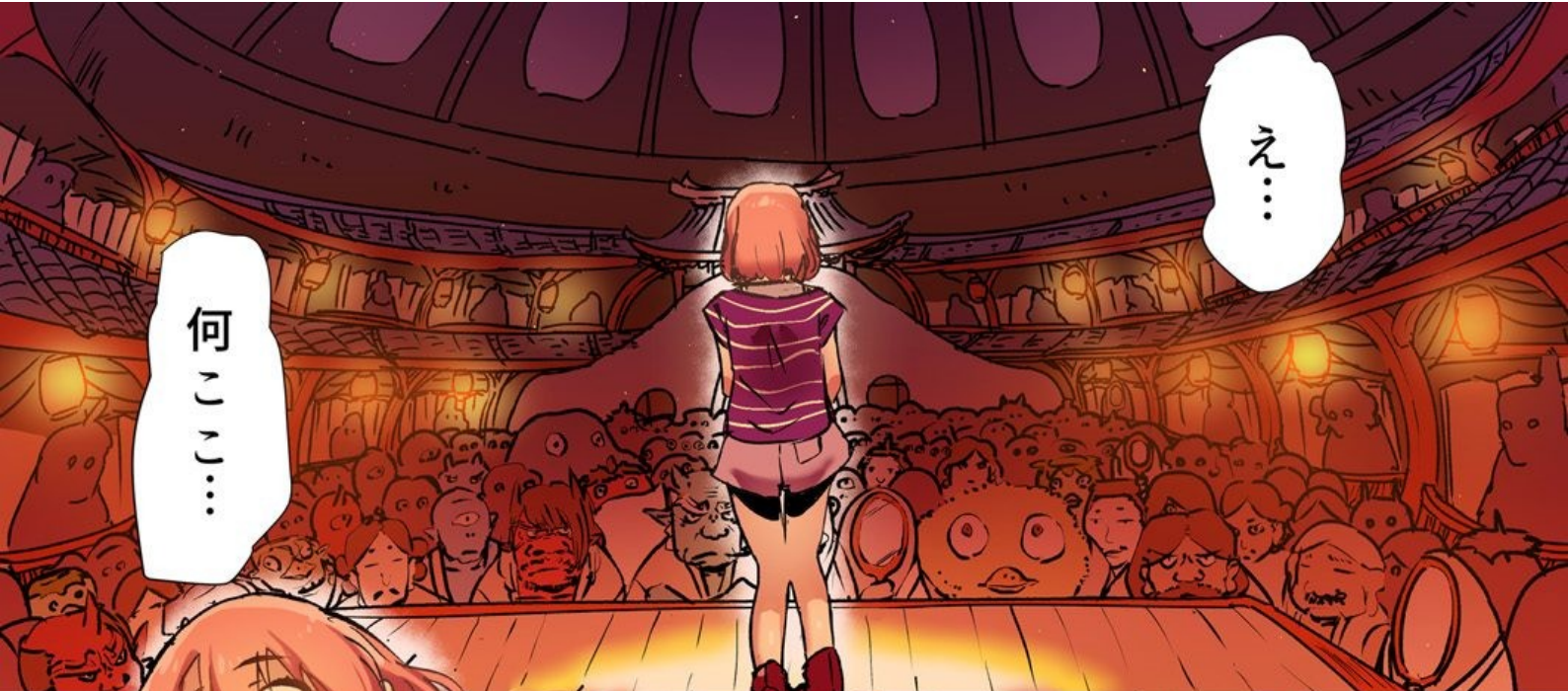


君は『女』ではないただの商品だ

そりや無傷の方が高値で売れるだろ



この中でお前の買い手を見つける



え…

何…



—ッ!?



こんなの…

どうやって
逃げれば…



全身に
視線が刺さる

怖い—

逃げたい…っ



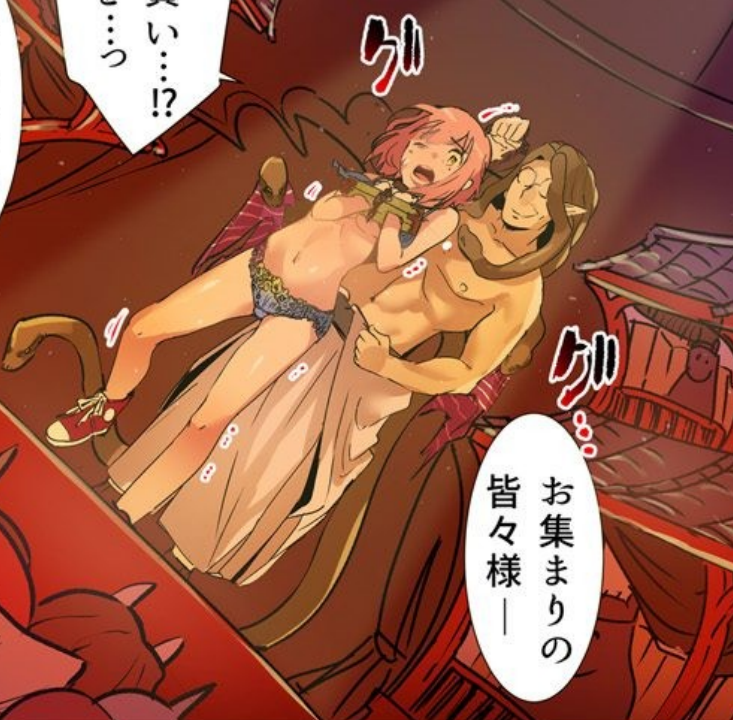
さっ—



競りの品はこの娘

今宵の意和戸
開演です

人買い...!!
何を...



お集まりの
皆々様—

顔を隠すなよ
皆様困って
おられるだろう



ほお...
柔らかく豊満

こいつ...!!

乳首に触れただけで
吐息が漏れるとは...
さぞ淫乱に育つでしょう

では
お待ちかね
—...と



へえ珍しい肌着だ
なかっくに
中津国の流行りか

ひぐつ...

絶対思い通りに
させない
んだからーっ



鬱陶しい
手だ…



へ蛇が…っ!



どうだ大勢の視線に
自分の裸をさらすのは

い嫌っ

今にも弾けそうな
鼓動が伝わってくるぞ

放して…っ



か
や…っ

そんなに邪魔
したいならば
すれぱいい

んっ

雁字搦め^{がんじがら}の状態
できればの話だがな



蛇の舌は
すごいだろう？

この舌でさらに
敏感な所を觸ると
どうなるのか…

降ろさないで

だめっ

んん…っ!!



ふうう…っ

身を振る事も
ままならないだろ？

俺の為す
がまだまだ



こんなに
大勢の前で—



ほお…股から糸が
引いてしまっているねえ

一体どんな
想像をしたんだい？



獣のように
乱れてしまう
姿かな…？





ぐんぐん……っ！

あ……っ

はああ……っ

じゃあ
こういうのは
どうかな？

んっ！

だめっ

これだめえ……っ!!
舌が奥でうねって

ああっ

だめだめえ……っ



さあ
ここからが本番だ

ふむ
処女だったか

はあ...
ようやく
終わった...

はあ...
はあ...
はあ...

...えっ?
はあ

ふん...
ふん...
ふん...

あっ
あっ
あっ

あああ
あああ
あああ

ひっ
ひっ
ひっ

おや?
さっきとは
打って変わって
余裕はなさそう
だあ

もういやあ...
もういやあ...
もういやあ...

はあ
はあ
はあ

はあ
はあ
はあ



あっ

やつ
また…っ

伸びてる暇が
あるなら
喘いで皆様を
楽しませな

んぐっ



んんんんううっ!!

いひはく
なひ…っ

もじや…



はっ

はっ

はっ…



では今宵の商品
初春の競りを始めます

うう…っ

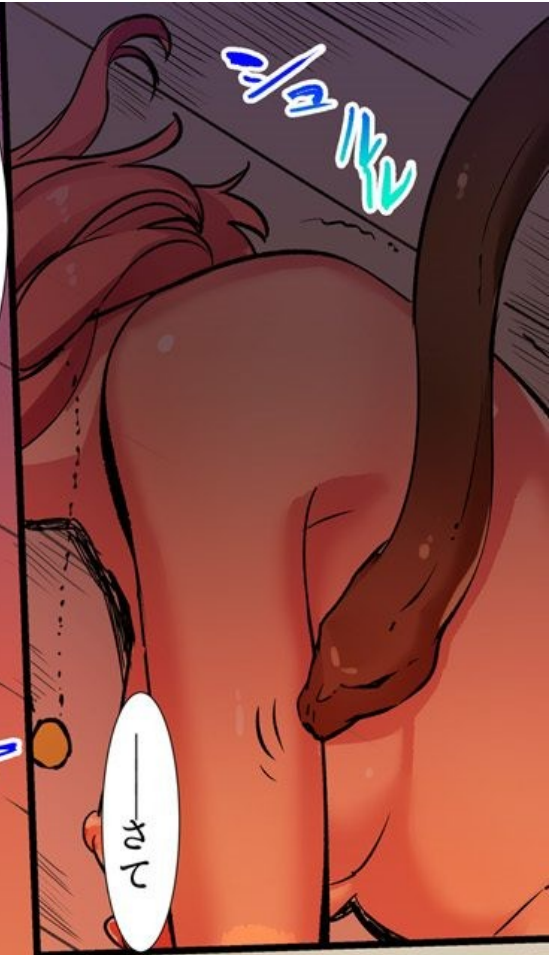
一両一二五匁!

二両七五匁!

二両二〇匁!

は…あ…

一両

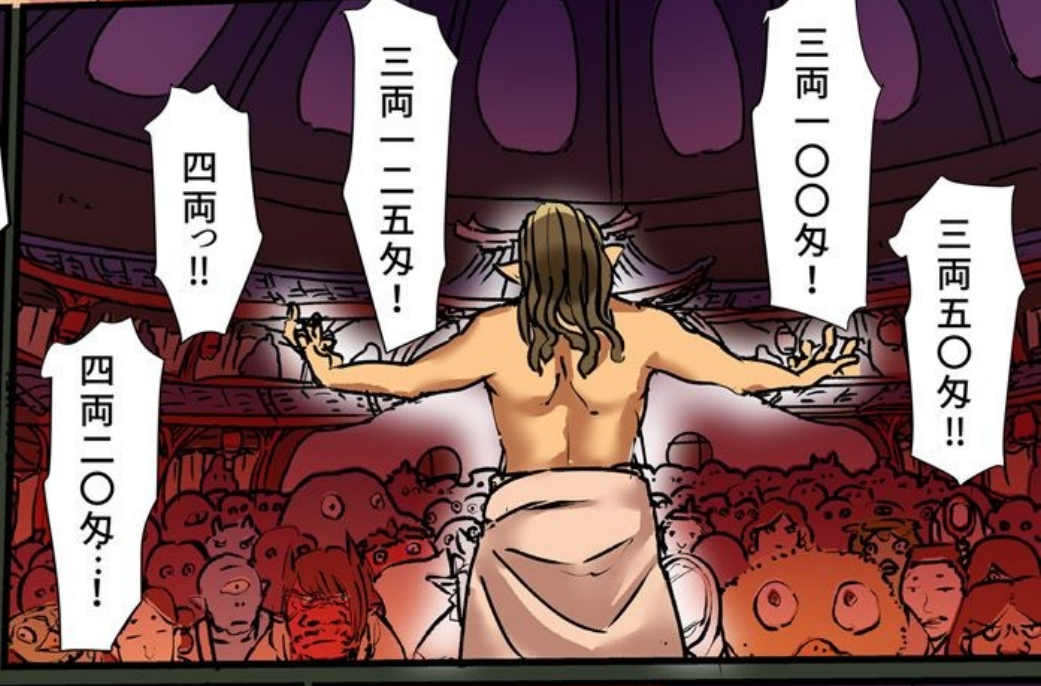


さて



六両!

ほかには
いらつしやい
ませんか?



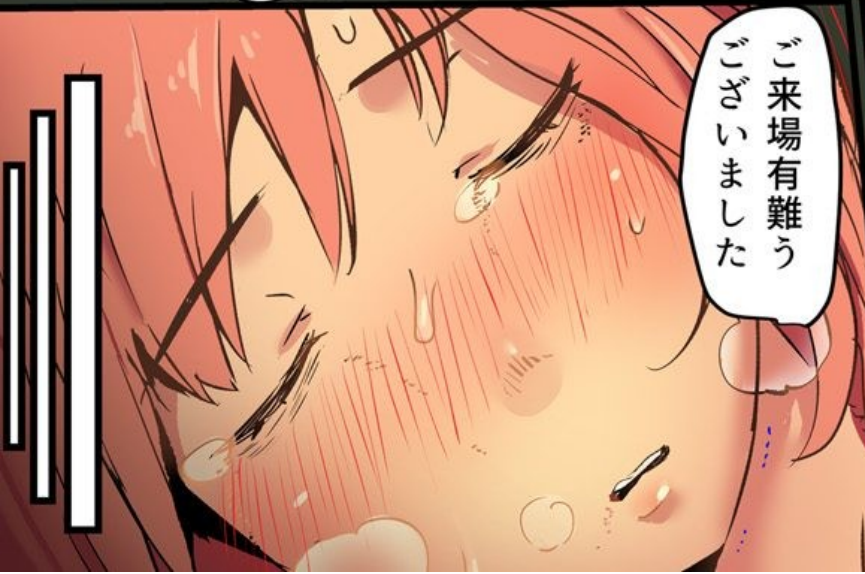
三両一〇〇匁!

三両五〇匁!!

三両一二五匁!

四両っ!!

四両二〇匁…!



ご来場有難う
ございました



猪神様が落札!!

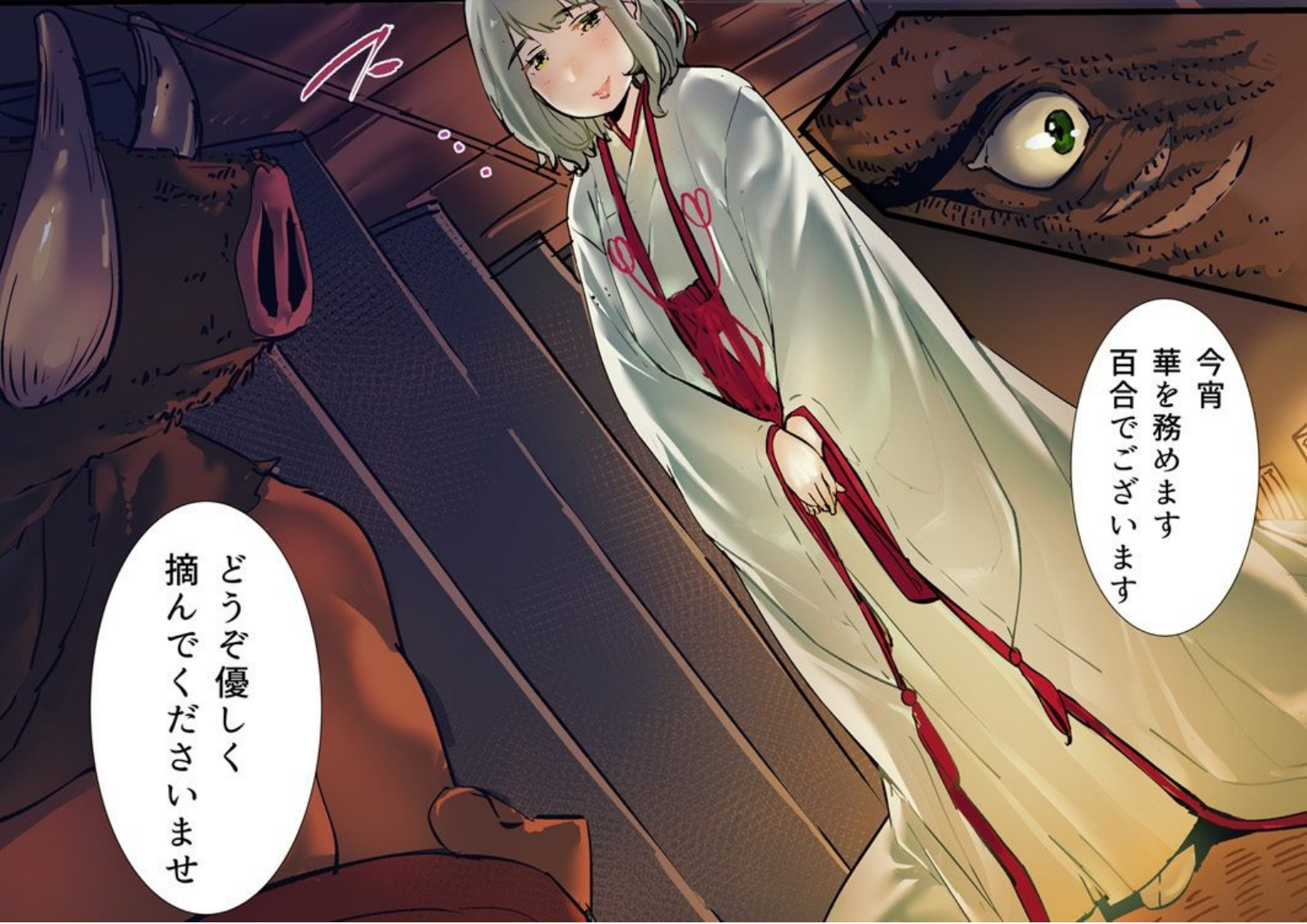
そん…な…



失礼します
猪神様：



：お来たか
待ちわびたぞ



今宵
華を務めます
百合でございます

どうぞ優しく
摘んでくださいませ



しゅ

る

せき

ん

さあ
もっと近くへ…

今日は朝まで
可愛がつてやろう…

おいで

……は

八百万姦
～異界で処女を競り落とされて…(1)

著者 prhs

発行 Wコミックス

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。



このドキドキをあげちゃうっ!



完全征服G!

KANZEN-SEIFUKU GENERATION



八百萬の処女

やぶらち子かん

異界で処女を競り落とされて……

2

prhs

八百万姦
～異界で処女を競り落とされて…

第 2 話



ぽん
今日は朝まで
可愛がつてやろう…

さあ
もつと近くへ…

ぽん



本当なら
逃げ出したい
のに…

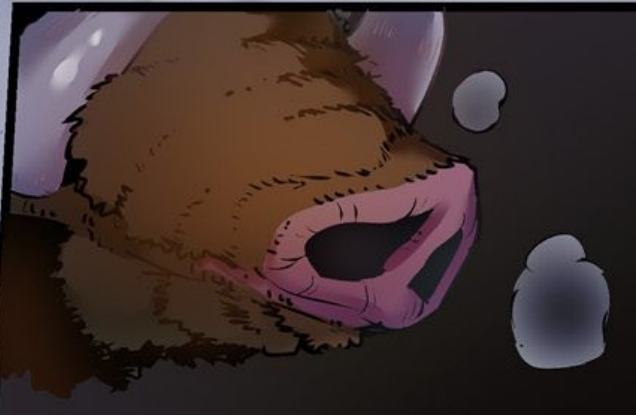
おいで…
怖い

はい



今から
この神様に…!!

私…





え...
だ誰!?



おはよう



時間無いから
食べながらね

昨日は
大変だった
みたいだね



あんだ蛇の女術に
買われたでしょ?

はあ...



私は巴

あんと同じで
この紅華屋に売られて
長いこと働いてる



昨日の蛇男は
紅華屋専属の
女術なんだ
意和戸で買い手が
決まればここに
送られるんだよ



えっ
で今日は
契約の日ね

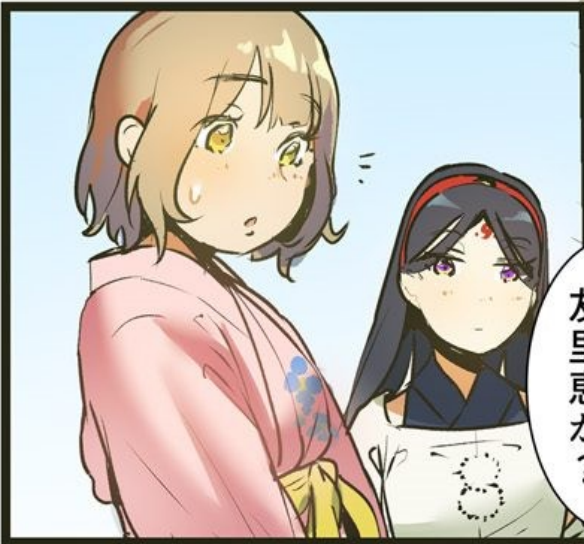
はい
これに
着替えて



主様
巴です

連れて
参りました

かし



ご苦労
下がれ

そちが
友里恵か？



それは無理な
話じゃの

そちには
すでに多額の
投資をしておる

出ていくな
ら
頭金を返済して
からじゃ

そんな
こと…っ



そうだけど

私働く気
なんてないから



死ぬまで働け
つてのーっ!!

絶対
イヤっ!!



神招き？

己が身を売るだけの
簡単な仕事じゃ
三百余年も働けば
完済できるじやろ

なに仕事は
用意してある
今日から名を百合と改め
八百万の神々を
「神招き」として労れ



グダグダと
ぬかしおって

グダグダ



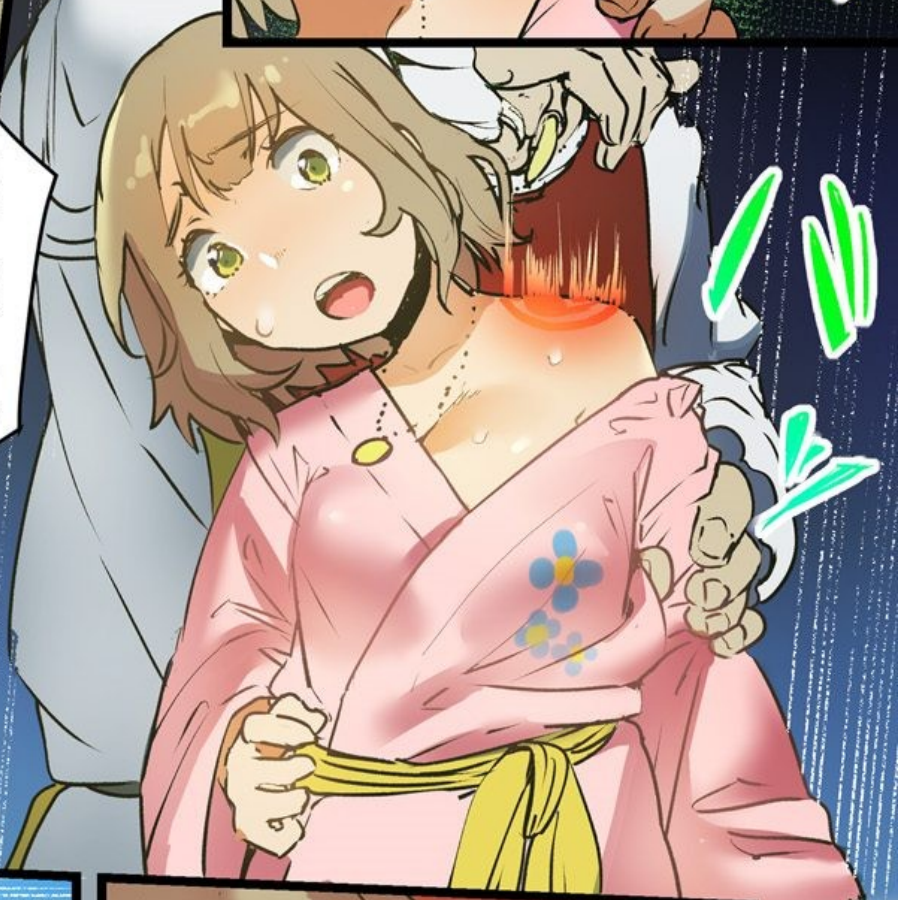
ちよ...
嫌っ

グダグダ



調子に乗るなっ
金で買われた
お前には

拒否する権利
すらない



ならば
そのまま放り出そうかつ

高天原で浮浪者として
飢餓と絶望に苦しみながら
永遠に生き続ける——っ!!



契約の
締結印じゃ

はまっ
しゅらっ

履行までの間
高天原から
出る事は出来ない

はまっ



そんなの
無効に

決まって—



ひっ



やめ…っ
体が思うように
動かないーっ!?



契約を履行するまで
わしには逆らえない
と思え

抵抗できない
じゃろ…?



じっくり
見させて
もらおうかの



蛇がどんな品を
仕入れたか



ふむ
反応も悪くない
十分稼いで
いけそうじゃな

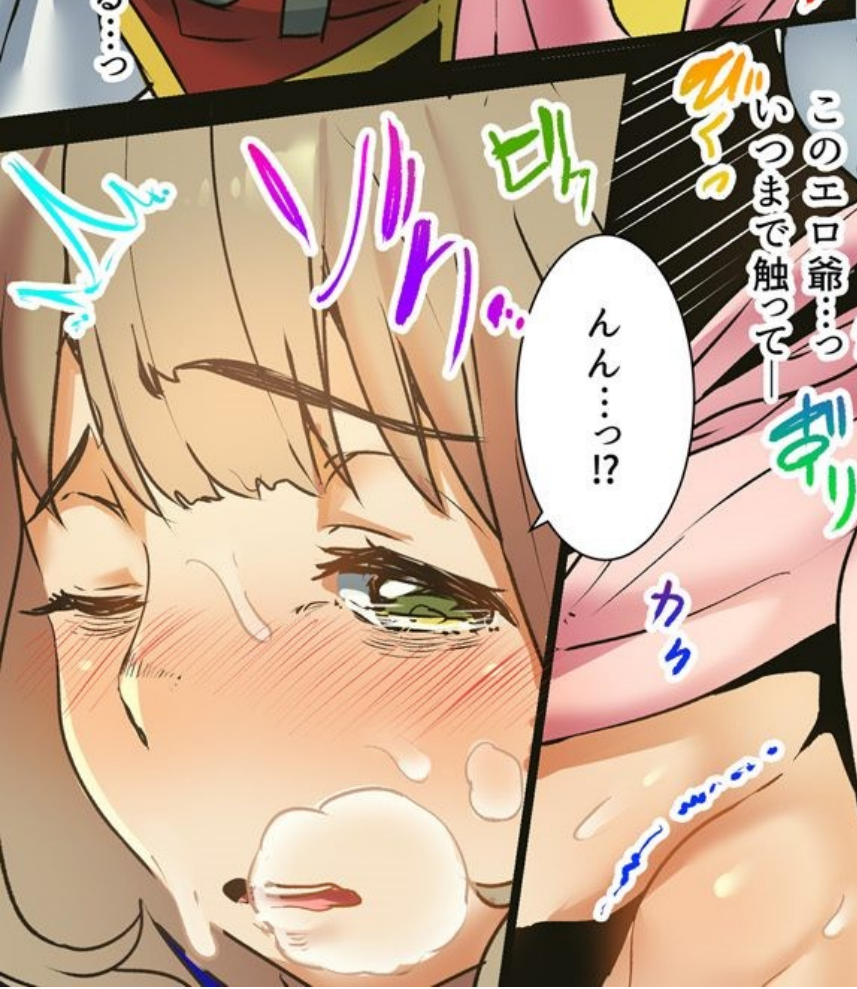
いや...っ
思いつきり
擦り上げられる...っ



へ...ちよつと
それより下は...っ



ほお
柔らかいのお



んん...っ!?

この巨口爺...っ
いつまで触って...っ



少し湿って
きたか...?



それ以上は...

お小神

めほ

だめ...つめほ

めほ

ちゅほ



布越しから撫でていたつもりが

いい指が膣内に挿ってしまったなあ



百合 良い身体をもっとの

期待しておるよ



だめえっ



主様 これ以上は



...なんで

?



百合あんたも
災難だったわね

あの爺誰でも
容赦ないから

...



あー

私達皆
あんたと
同じ様な境遇
だから



私ね...



なんで
今日会った
ばかりの私に

そこまで
気遣ってくれるん
ですか...?

もう最初のころの
記憶がないの

…え？

気付いた時には
もうここで
働いてたんだ

源氏名の巴しか
解らなくなるくらい
働いたんだと思う

高天原では
年を取ること
許されないから

毎日ひたすら
神様の相手をする
日々だけど

あの爺に
屈するのも
嫌だからさ

だから
元の世界に
戻れる様に

頑張ろうって
そう決めた

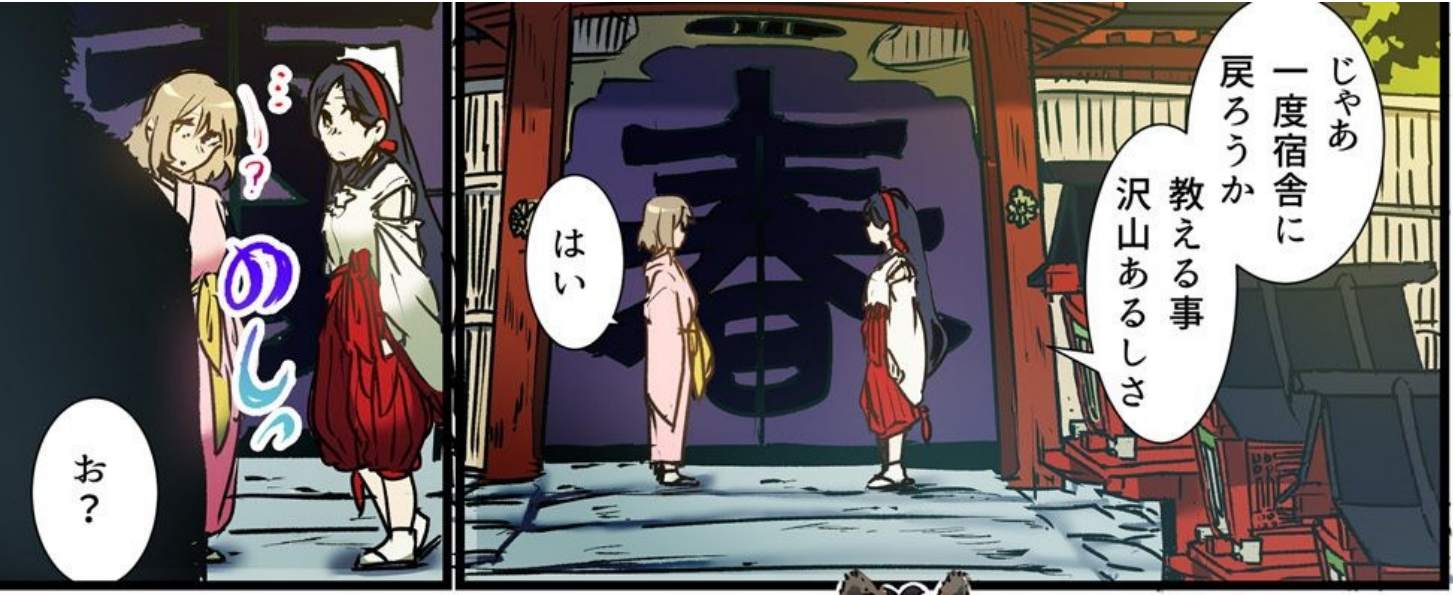
実は完済して
元の世界に戻った
娘も多いんだ

ほ本当に？

うん
時間は掛るけど
必ず戻れる
まあ詳しい話は
知らないんだ
けどね

巴さん私
もしかしたら
頑張れるかも

…そっか



お？

はい

じゃあ
一度宿舎に
戻ろうか
教える事
沢山あるしさ



主は昨日の…
今日は頼むぞ

？

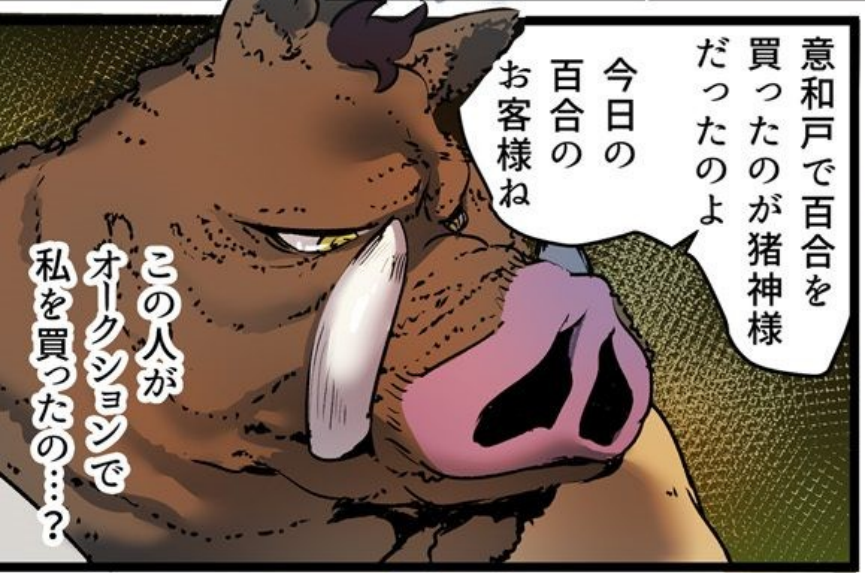
あえっと…
百合です



あら お久し
振りです
猪神様

おお 巴
久しいのう

ほら百合
あんたも…



この人が
オークションで
私を買ったの…？

意和戸で百合を
買ったのが猪神様
だったのよ
今日の
百合の
お客様ね



ふーん てことは
百合の初夜買ったの
猪神様だった
んだー？

ふむ 少々値は
張ったがな

え どういう事？



…怖いけど
ここで生きてく
には避けられない
事なんだよね

×

…

巴さん
これって

良い色でしょ？

黄緑色の…口紅？

そここれを
水筆で薄く
溶いて塗ると…

わ…すごい
あか
朱くなった

最近流行ってる
小町紅なんだ

高いけど
今日は特別…

はい完成！
百合映えるね
可愛い！！

そそうですか

それに猪神様は
神招きを優しく
扱ってくれる方
だから

当たりを
引いて
良かったよ

そう…ですか

今夜は
この階の
廻し部屋ね

私は隣の
部屋だから
別れるけど

百合
大丈夫？

これ以上 巴さんに
迷惑かけたくないし

怖いけど
頑張ろう！

しゅっ！



ううっ



ふむ…

…えっ?

すまん



知らない人に
触られるとか
やっぱ無理



それじゃあ
仕切り直しだの

わっ



鳥肌が立っておる
気付いてやれず
すまんかったの

この面だから
娘達をいつも
怖がらせてしまう



それに昨日の意和戸
でもひどい扱い
だったしの

主の目には
化物のように
見えたかも
しれんのう



この人本当は
優しい人なんだ。
ちよと安心したかも

あの
もう大丈夫
ですから



撫でてやって
くれるかの

初めて見た
男の人のつで
こんなだ！

はい…

あざん

あざん

熱い！
それに
ヒクヒク
してる



ふっ…うっ
つく…！

うわっ
飛び出た



どうかの
口に含め
そうか？

ええっ…
口で？
私のっ！



嫌か？

嫌…じゃ
ない…
ですけど…



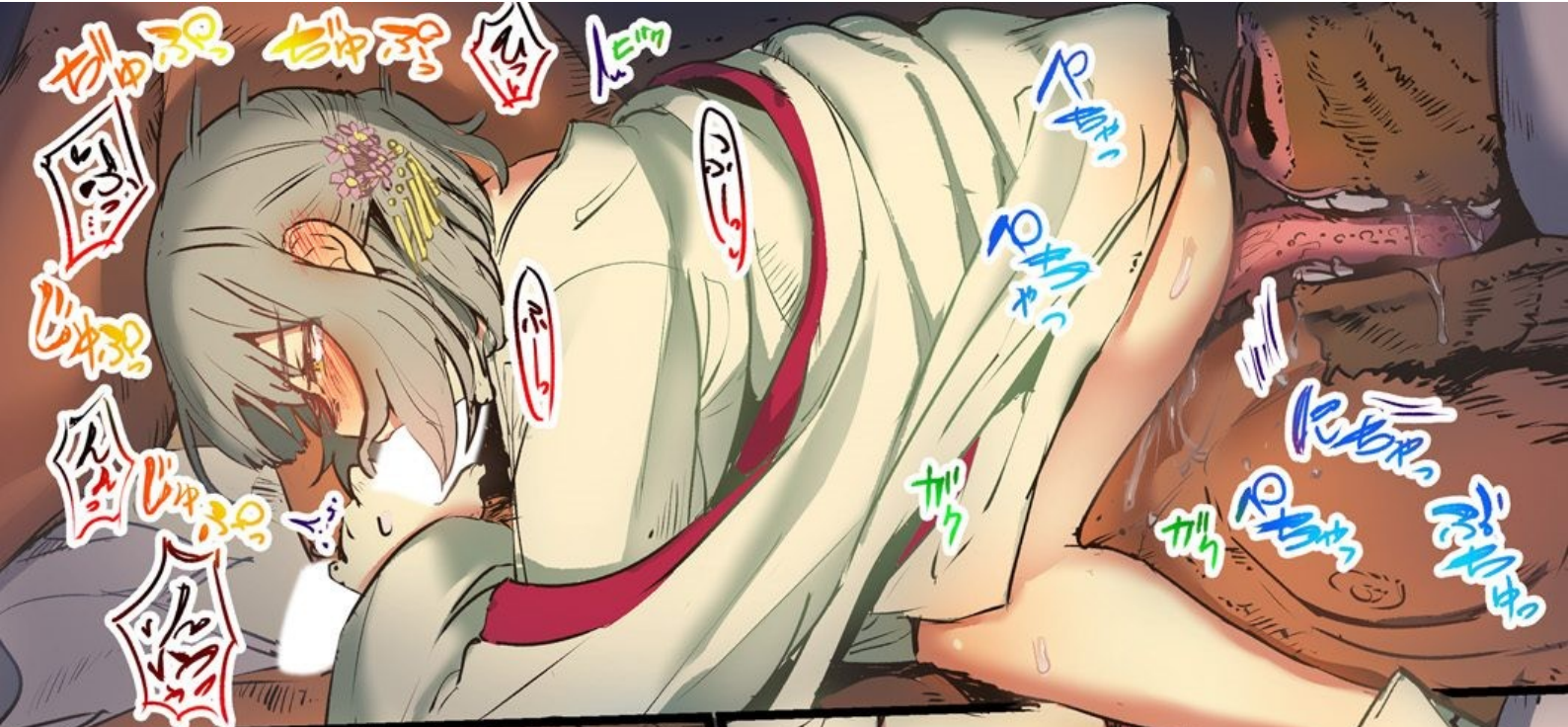
…匂いは
どうかの

臭くはないと
思うんだが



ちよつと
臭いけど
嫌じゃない…
かも？

よしよし



あっ
あ...

それ...
だめえ

舌で...
いつちやつた...



挿入れるぞ
百合…



私本当に
挿れられ…ッ



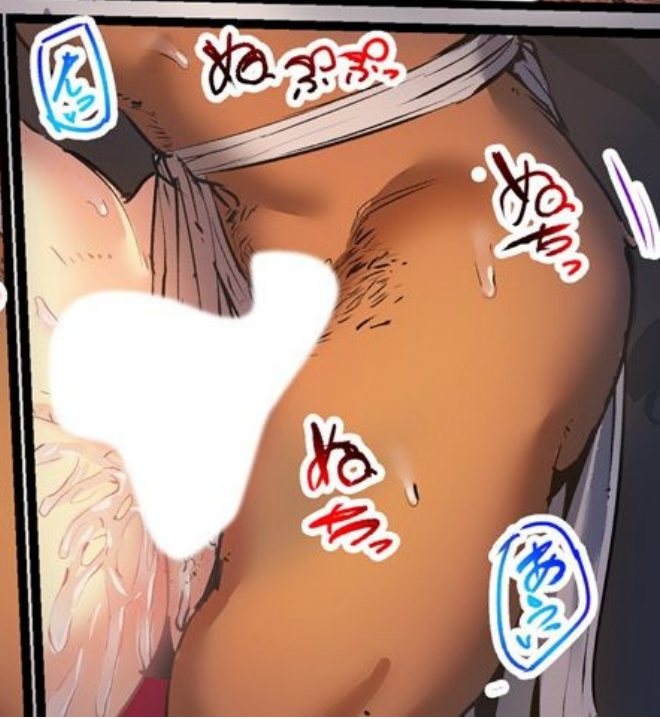
ゆっくり
慣らしていつて
やるからの

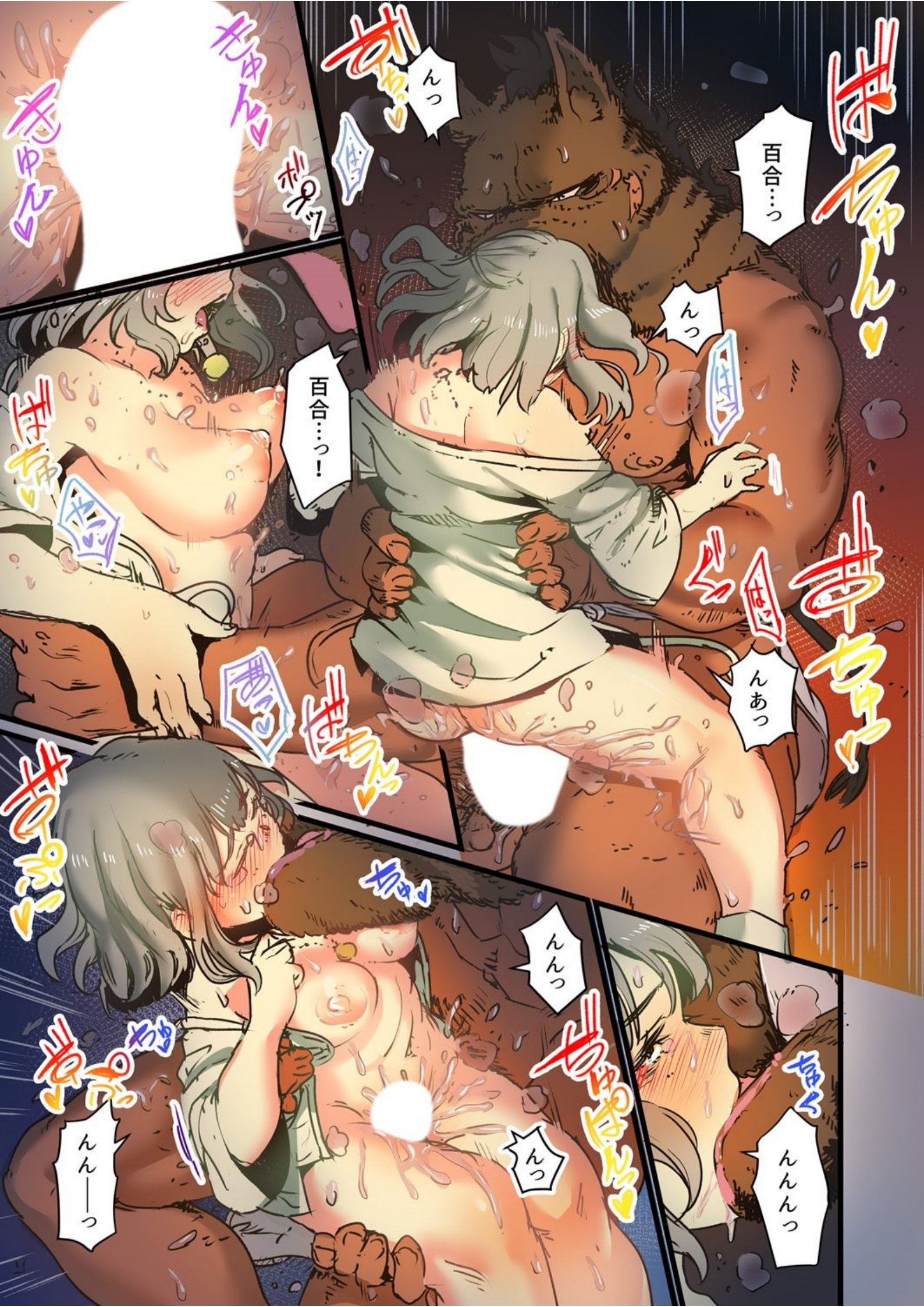


お腹…苦し…ッ



百合…





おやん♡

百合…っ

おやん♡

おやん♡

おやん♡

んっ

百合…っ!

んあっ

おやん♡

おやん♡

おやん♡

おやん♡

んっ

んっ

おやん♡

んんっ

んんっ

んっ

んんっ

はあ
趣味の悪い

神招きの娘と
恋人ごっこかい

あいかわらず
だねえ猪神は

金払ってんのに
あんなに氣遣って
何が楽しいのかね

あの新人
今度は俺が
扱ってやろうかな

きっと楽しいぞ

なあ巴



八百万姦
～異界で処女を競り落とされて…(2)

著者 prhs
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

このドキドキをあげちゃうか!



MENS スクローモ
SCREAM

